

1. 研究動機

現在の社会は、高齢化が進んでいるため、少しでも高齢者のためになることがしたいと思い福祉系のテーマにしました。私は、郡上市内で夜に黒い服を着ていたため車の人が気付かずひいてしまったという事故があったことを聞きました。そこから、『交通安全用のたすきがダサいからつけない』と感じる人が多いのではないかと思います。そこで、たすきのように車のライトに反射して光り、かつ身につけてもいいかなと思わせるものを作ろうと思いました。

2. 研究概要

- ・夜、高齢者が安全に出歩けるための安全グッズを作る。
- ・製作したグッズを、市民に紹介する機会をつくる。



3. 研究内容

<何を作るか>

夜に出歩く時に事故に遭わないようにするため、たすきの代わりとなり、普段から身につけてもらえる物を作ろうと考えました。はじめに、キーホルダーにして持ち歩けるようにしようと思いました。デザインした紙に反射のシールをつけラミネートした四角のキーホルダーを作ったところ、角が鋭く危ないなどの改善点がでてきたため、キーホルダーにすることは諦めました。次にどうするか考えていたところ先生のアドバイスもあり**缶バッジ**にすることにしました。

<デザイン>

- ①郡上に関係のあるもの・・・鮎、浴衣 →デザインしたら、周りから不評だったので却下。
- ②願いが込められてお守りになるイラストにしよう
→花言葉や動物で表せる言葉(鶴は長寿)たくさんの案が浮かびましたが、その中で自分の研究内容に合う**カエル(無事にカエル)**にしました。
インターネットのフリー素材を基に、葉っぱの傘をつけたり白目をつけたりしました。

<光らせる方法> 学校にあった色々な形のパンチで**市販の反射シールを型抜き**し、カエルのデザインの周りに貼ることにしました。

<Omamen`s> Omamen`s は去年の先輩が作ってくださった郡上高校オリジナルのデザインです。このデザ



インを使わせてもらい、カエルだけではなく Omamen`s の缶バッジも作りました。

<市民への紹介> 11月に行われた「町家オイデナーレ」で、缶バッジ製作の体験ブースを作り、販売と紹介をしました。



4.まとめ

私は一年間の課題研究を通してたくさんのことを学びました。まず自分で考え行動することの難しさを感じました。郡上のために自分は何ができるのかを考え、ほとんど一人でやらなくてはいけないし、試作品などを作るとすぐに改善点が出てきて作り直さないといけなかったりしてとても大変でした。ですが苦勞だと思ふことばかりではありません。友達と教え合いながら課題研究を進めていったり、町家オイデナーレではたくさんの人と関わることができ感謝してもらえたり、とてもいい経験ができました。将来私は人と関わる仕事をするので、この経験を活かして、社会に出たときも自分で何かを考え行動したり相手と接する時の礼儀などの姿勢をしっかりとるようにしたいです。また愛知県に進学するので郡上の良さをたくさんの人に伝えていきたいです。

